

議会だより

やとみ

No.

9

2008年
6月発行



がんばりましょう!

5/18 体 育 祭〈弥生小学校区〉

平成20年3月定例会

発行 ● 弥富市議会

編集 ● 議会広報編集特別委員会

〒498-8501 愛知県弥富市前ヶ須町南本田335

☎ (0567) 65-1111 FAX (0567) 67-4011



定数32人から18人に

新体制がスタート!

新議長あいさつ



議会議長

黒宮 喜四美

さわやかな初夏の季節を迎え、市民の皆さまには毎日ご健勝にお過ごしのことと存じます。

このたび、合併後初の議員選挙を契機に、議員18人による新体制がスタートいたしました。

地方分権時代を迎え、行財政基盤の強化、地域特性を生かした魅力あるまちづくりの推進、そして抱える課題への対応力の強化が求められ、これまで以上に厳しい財政運営を迫られることが見込まれます。

市政発展のため、議会の機能を十分発揮し、議会と執行機関との協調の下、安全で安心して暮らせるまちづくりを進め、議員一人一人が市民の皆さまの課題を共有し、市政に反映していくことに努力してまいります。

また、議会運営につきましては、公正の立場を貫き、議員各位が活発な活動ができますよう心掛けてまいります。

今後、さらなるご支援、ご協力を賜りたくお願い申し上げますとともに、市民の皆さまのご健勝とご多幸をご祈念申し上げます、議長就任のあいさついたします。

主な内容

議会構成	3
議員紹介	4～5
定例会の審議内容	
議案質疑	6～7
一般質問(14人)	8～21
やとみフラッシュ	22

表紙の説明

市内のコミュニティ推進協議会主催による体育祭が5月18日、6会場で行われました。

弥生小学校では、各字対抗の綱引きやリレー競技、パン食い競争など24種目が行われ、熱戦が繰り広げられました。



紹介します

※議席番号順。
平成24年2月29日任期満了

凡
例

議席
番号 氏 名 (年齢)
【住 所】

①期数(旧町村通算) ②会 派
③趣 味 ④好きな言葉



7 たけだ まさき (52)
【森津十一丁目】

① 2(2)期 ② 市政会 ③ 読書
④ 雨ニモマケズ 風ニモマケズ…



4 こばやし みのる (59)
【鮫ヶ地二丁目】

① 2(2)期 ② 市政会
③ 釣り・園芸 ④ 不言実行



1 ほりおか としき (43)
【鯛浦町東気開】

① 1期 ② 公明党
③ 読書・音楽鑑賞・スポーツ
④ 電光石火



8 たて まつしんじ (55)
【東末広七丁目】

① 2(2)期 ② 市政会
③ ドライブ ④ 初心



5 さとう たかひろ (58)
【子宝二丁目】

① 2(2)期 ② 市政会
③ 詩吟・ゴルフ ④ 和顔愛語



2 すみ かみふくよ (52)
【鯛浦町上六】

① 2(3)期 ② 公明党
③ 音楽鑑賞・映画鑑賞・琴
④ 桜梅桃李・一期一会



9 やまもと よしみつ (63)
【佐古木七丁目】

① 2(2)期 ③ 海釣り・書道
④ 努力



6 さとう ひろし (74)
【前ヶ須町南本田】

① 2(2)期 ③ 読書・旅行・ゴルフ
④ 人は地位を得て尊きに非ず、
地位、人を得て尊し



3 やまぐち としこ (60)
【鎌島八丁目】

① 1期 ③ 音楽(コーラス)
④ 吾唯足知

～市民の期待に応え、弥富市のために頑張ります～

新体制の議員18人を



16 なか やま きん いち 中 山 金 一 (67)

【桴場二丁目】

- ① 2(4)期
- ③ 庭園鑑賞
- ④ 尽くして求めず



13 わた なべ てる 渡 邊 昶 (68)

【竹田三丁目】

- ① 2(3)期
- ③ スポーツ観戦
- ④ 人生には一つの無駄はない



10 すぎ うら さとし 杉 浦 敏 (53)

【鎌島九丁目】

- ① 2(3)期
- ② 日本共産党市議団
- ③ パソコン・詩吟・観劇
- ④ 自由とは必然の洞察である



17 くろ みや き よ み 黒 宮 喜四美 (66)

【富島一丁目】

- ① 2(6)期
- ② 市議会
- ③ スポーツ観戦・将棋
- ④ 不言実行・郷土愛



14 い とう まさ のぶ 伊 藤 正 信 (69)

【五之三町与太郎】

- ① 2(3)期
- ③ ゴルフ
- ④ 為政清明



11 やす い みつ こ 安 井 光 子 (68)

【西舘二丁目】

- ① 2(4)期
- ② 日本共産党市議団
- ③ 読書・アレンジフラワー
- ④ ありがとう・希望



18 おお はら いさお 大 原 功 (65)

【平島町中新田】

- ① 2(7)期
- ③ ゴルフ・釣り
- ④ 正直・有言実行



15 み うら よし み 三 浦 義 美 (58)

【前ヶ平一丁目】

- ① 2(3)期
- ③ 野球
- ④ 至誠一貫



12 さんの みや とう ごろう 三 宮 十五郎 (67)

【鯛浦町用水上】

- ① 2(10)期
- ② 日本共産党市議団
- ③ 読書・テニス・ソフトボール
- ④ 我不悔

3月定例会

3月定例会を7日から26日までの会期で開きました。

市長から20年度一般会計予算など30議案が、また議員より議会広報編集特別委員会の設置など1議案が提出され、原案通り可決しました。また教育委員の任命に同意しました。

一般質問には14人が登壇しました。

20年度一般会計予算

127億1,000万円

が計上されました。

主な事業は、同報無線整備工事や校舎の耐震補強工事などです。

質疑

質疑（浅井元議員）

(1) 港の発展は流通面を考えると、道路網の整備を至急行うことが必要で、関係機関へ話をしてもらいたいかどうか。

(2) 県フレンドシップ継承事業補助金の事業内容につ

いて尋ねる。

(3) 地域づくり補助金について、先進地の事例を知りたい。

(4) 殉公之塔の解体撤去後の計画を知りたい。

(5) 児童館費の駐車場用地購入は今後何か計画があつて土地を購入するのか。

(6) 命を大切にすることを育む教育推進事業委託料の事業内容を知りたい。

答弁（市長）

(1) 関係機関にも働き掛けられているが、今後も検討していきたい。

(4) 新たな碑を設置し、遺

族会、地元の皆と利用形態を考えていきたい。

答弁（企画情報課長）

(2) 映像文化を通じた女性の社会進出の支援や国際交流を図ることを目的に、県国際女性映画祭の開催に向け、県・市女性の会の協力を得て準備を進めている。

(3) 例えば地域で花いっぱい運動だとか、皆の新たな取り組みに対し補助金を使ってもらいたい。

答弁（副市長）

(5) さくら児童館は非常に利用者が多いが駐車場もなく、土地を購入し児童館の機能を高めていきたい。

答弁（教育課長）

(6) 命の大切さを体得させる活動をし、子どもたちが命は受け継がれるものであることに気付き、自分を大切にする気持ちを育て、自らの命を輝かせることができる内容の事業を実施する。

質疑（伊藤議員）

(1) ケーブルテレビの加入費と月額使用料に補助をすべきではないか。

(2) 市が指定管理者制度を導入しなければならない実態なのか。

答弁（企画情報課長）

(1) 市限定のプランを用意し、県下でもとても得なプランになっている。

答弁（市長）

(2) 行政改革を進める上で、指定管理者制度を常に意識の中に置かないといけないと思っている。

質疑（安井議員）

(1) 予算書を他の市町村を参考にして、分かりやすいものに改善してもらいたい。

(2) 遠隔地や車がない障害者に、福祉タクシー券の上乗せをすることが必要ではないか。

(3) 成年後見制度の利用支援費について知りたい。

(4) 正規雇用は減り、低賃金や不安定雇用の拡大、過労死やサービス残業などが横行している。

市内の若者たちの労働実態調査を行うべきではないか。

(5) 子育て日本一といわれ

るこの市のさらなる妊婦健診の拡大、改善を求めたいかどうか。

(6) 昨年がん検診の受け付けが大変混んだ。どのように見直したか。

(7) 十四山東部小学校北校舎の耐震診断、補強工事はどうなっているのか。

答弁（総務課長）

(1) 各市の予算概要説明資料を調査研究し、改善していく。

答弁（福祉課長）

(2) 今後十分に考えていかなければならない課題である。

(3) 身寄りのない知的障害者、精神障害者、認知症高齢者など、成年後見制度の適用が必要とされ、助成を受けなければ制度の利用が困難な者に対し、市長が代理で申し立てを行う場合の経費である。

答弁（市長）

(4) 定住して安定した生活をしてもらうことは非常に大事で、機会があつたら考

答弁（健康推進課長）

(5) 大事な問題であるが、慎重に動向を見ながら進めていきたい。

(6) 市保健センター、十四山保健センター、いずれでも対応できるように考えている。

答弁（教育部次長）

(7) 22年度までに耐震補強工事を実施する予定で、玄関と教室のつなぎ部分は耐震性を有していないので、取り壊しをする予定である。

質疑（佐藤博議員）

(1) 海翔高等学校連絡協議会負担金を他の高校との関係上、いつまで負担するのか、最終するのか大事な問題ではないか。

(2) 女性の会を大切に育て、魅力ある活動を展開し組織化を図る考えはあるか。

(3) 関西本線複線電化促進連盟負担金について目的達成の可能性はあるのか。

(4) 海部地区環境事務組合の施設の入札問題について、現在どうなっているのか。

答弁（副市長）

(1) 存続するかしないかは、教育委員会の意見も聞いて対応していく。

答弁（市長）

(2) 女性ならではの知恵とか、地域の活動が要望され、各議員にも活動に対する指導等を願いたい。

(4) 大変大きな訴訟問題であり、各市町村の負担金が少なくなるように、解決してもらいたいと願っている。

答弁（総務部長）

(3) 複線電化については多大な投資が必要で、輸送需要の見込み、収支採算性を見極めて判断するとの回答が寄せられている。

質疑（三宮議員）

(1) 予算の説明書等で、市民が理解できる資料を示し、市、議会、市民が一致した認識をしていくことが大事ではないか。

(2) 市職員の職場環境と給与の改善を進めてもらいたいかどうか。

(3) 北中の自転車通学の自由化は、どういう条件を実現したら解消されるのか。

答弁（市長）

(1) 皆の意見を聞き、今後の財政状況も見ながら健全な予算づくりをしていきたい。

(2) 臨時職員の採用や再雇用の嘱託職員の再雇用などで職場環境の改善にも努め、生活を支えるための給与も大変必要で、今後も改善を進めていく。

答弁（教育部次長）

(3) 駐輪場の増設工事を行い、学校、PTA、教育委員会等で協議検討し、自転車通学の範囲を拡大していきたい。

討論

賛成討論（三宮議員）

市としてさまざまな努力を市長や職員がしていることに敬意を表し、それなりの評価はしているが、今日の市民の置かれている状態と市の行政力・財政力にふさわしいものにさらに発展させてもらいたい。

そのためには、一層の努力が必要であり、その取り組みを強く求め賛成討論とする。

採決

全員賛成で可決

20年度後期高齢者医療特別会計予算

3億2、700万円が計上されました。

討論

反対討論（安井議員）

この制度により、高齢者への負担増と医療の切り捨ては、一層拍車が掛かることになる。

日本医療の危機的状況を打開し、日本医療の真の再建のために、20年度市後期高齢者医療特別会計予算に反対する。

採決

賛成起立15人で原案可決
反対2人（三宮、安井）

後期高齢者医療に関する条例の制定

後期高齢者医療制度創設に伴い必要があるからです。

採決

賛成起立15人で原案可決
反対2人（三宮、安井）

選挙管理委員および補充員

任期満了に伴い選挙した結果、次の方々が当選しました。

選挙管理委員

三輪一男氏（平島）
青木忠氏（東中地）
伊藤敏智氏（大谷）
早川優子氏（馬ヶ地）

補充員

佐藤雅夫氏（樺場）
伊藤学氏（寛延）
伊藤操氏（前ヶ須）
服部勝氏（五之三）

教育委員

池田教育委員の辞任に伴い、後任者の任命に同意しました。

大木博雄氏

（60歳・平島）

浅井 葉子 元議員



防災拠点を十四山支所に置いたらどうか

問

(1) 災害対策の拠点となる市役所の庁舎は、市の心臓部分だが、耐震性をクリアしている十四山支所に防災拠点を置いた方が、災害のときにいいのではないか。

(2) 防災安全の拠点を、事務の効率化にとらわれず、災害が起こったときに機能することが、市としての安心・安全を守ることだと思いがどうか。

(3) 20年度から公共施設の整備基金を積むようだが、東海・東南海地震が叫ばれている時期で、どのような計画を立てているのか。

サブシステムとして有効に活用したい

答 総務部長

答

(1) 耐震性からすれば、その方が安全性は高いが、事務を執る機能が本庁舎にすべてあり、庁舎を整備していくのが一番効率的に仕事に対応できると考える。

答 市長

(2) 本庁舎が耐震性に優れていないことについては、技術的なことを考えながら、防災拠点のつくり方を業者とともに考えていく。

答 副市長

(3) 何年とは言えないが、なるべく早く、特に重要な所から順次整備をしていきたい。議会と相談し対応していきたい。

問

橋梁の耐震の進捗状況と今後の取り組みについて尋ねる。

答 開発部長

18年度から主要幹線道路の15m以上の橋梁を最優先に実施し、20年度は坂中地橋、二ツ杵橋、筏大橋の耐震対策を予定し、今後、長寿命化修繕計画を作成した。

十四山施設の活用は決まったのか

問

(1) 新聞に「十四山施設活用案まとまる」と掲載されたが、これは決定なのか。

(2) 議会として、公共施設の今後の取り組みに意見を述べる機会は与えてもらえるか。

検討委員会から意見をもらっている

答 市長

(1) 十四山地区公共施設検討委員会から意見をもらっているが、最終的な決定で

佐古木駅に無料駐輪場の設置を

問

佐古木駅周辺は(不法)駐輪が目立ち、歩行者や車の妨げになっている。

佐古木駅に無料の市営駐輪場を設置する考えはないか。

現段階では考えていない

答 都市計画課長

佐古木駅の自転車の利用数は約380台であり、有料ではあるが屋根付きの駐輪場が整備されていて、十分収容可能な状況である。現段階では駐輪場の設置は考えていない。

安井光子 議員



十四山保健センターを 存続してほしい

問

十四山保健センターの存続について尋ねる。

(1) 存続は住民の強い願いである。市長はどう受け止めているのか。

(2) 同センターを鍋田・佐古木地域の人にも利用できるようにしたらどうか。

(3) 存続により、地域住民の健康を守っていく役割を持たせるべきではないか。

(4) 一般公募の人たちを検討委員会に入れ、住民の意向を尊重し、議論を重ね、納得と合意の上で慎重に事を進めるべきではないか。

保健センターの統括を考えている

答 市長

(1) 市民の声は非常に大き



十四山保健センター

いものだと受け止めているが、存続については旧弥富町の保健センターで統括していくように考えている。

(3) 現在の十四山地区に不足している児童館や、子育て支援センターという形で、保健センターを再活用していきたいと考えている。

(4) 今までの利用者に不都合のないよう考えていきたい。公募による委員の選出は、今後の委員会等で検討していく。

答 健康推進課長

(2) 人数的に少なく、費用対効果からいくとかなり厳しい状況である。

桜小学校マンモス化 解消の早期実現を

問

(1) 市長は桜小学校マンモス化解消を図るため、新校舎建設を前提とし、教育委員会とともに解決に当たると言っている。具体的にどう進めるのか。

(2) 補助金について、県との話し合いをいつから始めるのか。

新校建設を前提に 準備を進めていく

答 市長

(1) いち早く学校環境を是正していく上で、新校建設を前提にしっかりと準備を進めていく。

(2) 県あるいは国に働き掛

けて、この問題解消を図っていききたい。

業務委託は違法の 疑いがあるのでは

問

(1) 市の学校給食は民間委託に拡大している。学校別に委託料の明細と仕様書を議会に提出してもらいたい。

(2) 学校給食の業務委託は違法の疑いがあるが、労働局の指導はどうか受けたのか。

抵触しているとい ろは改善を図る

答 教育長

(1) 入札で執行している関係もあり、考えさせてもらいたい。

(2) 愛知労働局と相談したが、市の施設設備等は無償提供することは、請負条件に抵触することなので、今後は賃貸借契約を結ぶよう改善を図りたい。

小坂井 実 議員



近鉄佐古木駅でロータリー 新設などを含めた総合計画を

問

次の近鉄佐古木駅周辺整備について尋ねる。

- (1) 総合計画の中に策定されるのか。
- (2) 駅の外にトイレがなく、駅南側は不法駐輪場になっている。

例えばトイレは私有地の買収や駅との協議等、何らかの打つ手があると思う。

南側の私有地は駐車場である。新しくロータリーをつくるのか、そのようなことまでも総合計画の中に含めて地権者と話し合う考えがあるか。

- (3) 都市計画マスタープランではどのように駅前開発をするのか。

- (4) 名古屋から佐古木に帰る電車は、富吉駅止まりの便が多い。(改善を)近鉄と話し合う機会はあるか。

議員も住民の声を近鉄に反映してほしい

答 市長

- (1) 総合計画および都市計画マスタープランにも盛り込んでいきたい。



▶近鉄佐古木駅前のロータリー

- (2) 議員も自らリーダーシップをとって、住民の声を近鉄に反映してもらうことが必要ではないか。

答 都市計画課長

- (3) 現在、構想段階であり、都市計画道路津島佐古木線の整備と併せて検討することとを、プランに盛り込んでいきたい。

- (4) 富吉駅は操作場という特殊な事情があり、要望は非常に困難だと理解している。

傷んだ水路沿いのフェンスの管理は

問

排水路、河川沿いの道路の安全対策について尋ねる。

- (1) (車の横転防止のため) ガードパイプではなく、ガードレールを設置すべきではないか。

また設置後年月がたち、フェンスの傷みが目に付くが管理はどうなるのか。

- (2) ガードレールだけ、またはフェンスだけの箇所が

あるが、両方は設置しない考えか。

フェンスの破損は できる範囲で確認

答 開発部長

- (1) 水路管理者は、人の転落防止用にネットフェンス等を、また道路管理者は、水路沿いはネットフェンス等を、それ以外は車を対象にガードレールを施工している。

市道認定がしていない所は、県の単独土地改良事業により既存の危険なフェンス等を計画的に整備しているので、施設管理者等と協議し市に要望をもらえば、いろいろ検討する。

フェンスの破損はできる範囲で確認はしているが、そういう所があれば教えてほしい。

- (2) 交差点等どうしても必要な所は両方施工してあるが、それ以外はどちらかで施工している。必要な場合は、現地を確認し考える。

炭 竈 ふく代 議員



放課後子ども教室の推進と 児童クラブの対象学年拡大を

問

放課後子ども教室推進事業（Ⅱ小学校の教室等を活用し、地域の参画を得て、学習やスポーツ・文化活動を実施する事業）について、愛西市、美和・大治町が取り組んでいる（と聞いた）が、市に実施の考えはないか。

放課後教室は検討したが
当面は児童クラブを推進

答 社会教育課長

いろいろな角度で検討・協議したが、当面、児童クラブ事業を推進していきたい。

問

週に1、2回実施や、児童数の少ない学校からモデル事業として始めることができるか。

答 社会教育課長

再度、学校といろいろな協議し、推進に向けて検討していきたい。

問

児童クラブについて、次の事項を尋ねる。

- (1) 現在の待機児童数
- (2) 今後の定員数と対象学年（現在、小学3年生までの拡大



▶ おやつを食べる児童
（弥生児童クラブ）

答 児童課長

- (1) 桜、弥生、白鳥は定員

いっぱいだが、今のところ待機はない。

答 市長

- (2) 子育て支援に対しては、さまざまな角度から環境整備をしているところである。20年度の計画として、桜学区に（2カ所目の）児童クラブも検討している。

中学生男子に防犯 ブザーの配布を

問

学校防犯対策として、中学男子生徒にも防犯ブザーを配布すべきと思うがどうか。

全児童に配布して
おり、考えていない

答 教育課長

小学校の全児童に入学時、防犯ブザーを配布している。家庭で管理をし、中学校でも使用してほしいと考えており、中学生への配布は考えていない。

ごみの集積場所の 見直しを

問

ごみの集積場所について、次の事項を尋ねる。

- (1) どのように決められているのか。
- (2) 高齢者や弱者が便利に安心して出せるよう、場所や回収方法の見直しを市全体で考えていくべきではないか。

一定戸数で集約する
原則を守ってほしい

答 環境課長

- (1) 新設、変更とも原則は地域で決め、区長に届けを提出してもらっている。

答 市長

- (2) 高齢者等に便宜を図ることは行政の基本的な姿勢であると思うが、集積場所とは一定戸数、または地域で集約をしてもらい、そういった中の原理・原則というのは守ってほしい。



大 原 功 議員

市長の政権公約違反について 尋ねる

問

市長は給料を20%カットしたが、3月から給料が2.8%上がっている。これは無駄遣いではないか。

相矛盾することは
一切ない

答 市長

報酬審議会の答申を受けて9月議会で提案した。皆に審議してもらって可決されているので、相矛盾することは一切ない。

議員報酬の日当制で
経費が削減できるが

問

福島県矢祭町は議員報酬を日当制にし（経費を）削

減している。

市長も（日当制を）報酬審議会で議論してほしい。そうすれば年間約1億円が浮き、税金の無駄遣いにならない。

地方財政法について市長に尋ねる。

健全な財政状態をど
う運営するかである

答 市長

地方の財政をつかさどるものであり、安全で、しかも堅実な財政状態がどう運営されていくかということだと思う。

人間ドックの本人
負担はなぜ高いのか

問

人間ドックの本人負担が、社会保険は9、500円で、国民健康保険は1万3、000円だが、なぜ同じにならないか。

社会保険と比べ
検査項目が多い

答 健康推進課長

社会保険に比べ市が行う人間ドックは、腹部超音波、眼底、眼圧がプラスされている。

その分を含めると妥当な金額と考えている。

早く学校をつくって
もらいたい

問

(1) 校小学校マンモス化問題で、学校整備検討協議会において以前出た案を廃止することによってプレハブ（仮校舎）の話になったのか。
(2) その地域にたくさん

新校舎建設を前提
に全力を尽くす

答 市長

(1) 教育委員会から一つの案としてプレハブの問題が出された。
(2) しっかりとした道路をつくり、あるいはさまざまな公共施設等も考えながら、新しいまちづくりをしてくということである。
(3) 新校舎の建設を前提とし、これから全力を尽くして頑張る。

三 宮 十五郎 議員



地球温暖化防止のため 巡回福祉バスの活用を

問

(1) 県や他の港湾自治体と協力し、排気ガスの規制を進め、巡回福祉バスを活用し、日常生活に自家用車を使わなくて済むまちづくりが課題になっている。

市長としてイニシアチブを発揮してもらいたい。

(2) 住民の希望を聞いてバスの運行をするか、検討委員会もつくて、具体的にバスを効果的に使う手立てを考えてもらいたい。

バスの位置付けを 明確に変更すべき

答 市長

(1) 福祉バスは、年間経費4、800万円を使いながら、高齢者の社会参加を促す意味合いで活用してもらっている。

◀巡回福祉バス



CO₂削減のため、このバスを中核的な交通手段として考えるならば、バスの位置付けを明確に変更していかなければならない。

次の段階で、バスの計画的な利便性を考えなければならぬ。

(2) 市民の意見で一番多か

つたのは、バス停の増設であった。

福祉バスを充実させるためには、抜本的に考え方を改めて、総合的な見地で考え方を新たにしていきたい。

ごみのリサイクル が減ってきている

問

以前はごみの総量の大体25%ぐらいをリサイクルに回していたが、最近だんだん落ちてきている。

行政として努力してもらいたい。

市としても大変 重要な問題である

答 市長

ごみ、リサイクルの問題は市としても大変重要な問題で、このためには、一人一人が生活の中で分別も含め、ごみの量の削減に対し意識することが大事である。

さらなる減免制度 の見直しを

問

(1) 市税の減免制度は一定の見直しがあったが、さらに見直しをする考えは、今も変わっていないか。

(2) 後期高齢者医療制度へ移行し、市の減免制度が受けられなくなった人へ、何らかの手立てをとる必要があると思うがどうか。

近隣市町村も確認し 検討していく

答 市長

(1) 減免制度の改正については、近隣市町村の確認もし、検討していく。

答 保険年金課長

(2) 常に弱者に対する保険料徴収の研究を進めるよう、他県の広域連合の情報も収集し、対応が遅れないように広域連合へ働き掛けていきたい。

中山 金一 議員



国道155号バイパス、 県道名古屋十四山線の状況は

問

市内の広域道路の整備状況について尋ねる。

- (1) 国道155号バイパス延伸について、国道1号以南400mの用地買収がされたと聞いたが、工事予定は、(2) 歩道付きの道路整備はどのように進められているのか。

(3) ④ 県道名古屋十四山線

について、善太橋西信号機から西尾張中央道区間の拡幅工事の完成は。

⑥ 子宝信号機以西は道幅も狭く、歩道もない。県道昇格をし、整備を早く進めてほしい要望がある。

六條町地区では民家の立ち退き問題もあるが、これからの計画は。

国道155号延伸 は20年度中に整備

答 開発部長

- (1) 3月に道路改良工事の発注を行い、20年度中に(県道富島津島線まで)完成すると県から聞いている。
- (2) 都市計画道路など主要幹線道路は歩道を設置する。

生活道路は(自治会要望

問

市有バス運転業務を シルバーに委託しては

シルバー人材センターについて、次の事項を尋ねる。

- (1) 就労人数
- (2) 職場数と職種
- (3) 名古屋港ゴルフ倶楽部で働く会員が、人材会社に籍を移さない就業できないと聞いた。なぜか。
- (4) 市所有のバスの運転業務

務を委託できないか。

長時間であり困難 ではないか

答 民生部次長

- (1) 会員は2月末現在で男191、女103で合計294人、就業者は289人である。

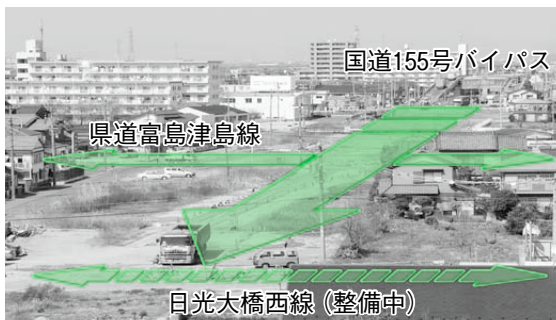
(2) 民間140社、一般家庭755、後は市役所である。主な職種は、工場内軽作業、経理、樹木消毒・剪定、商品管理等となっている。

20年度から十四山地区公共施設の清掃等を委託し、市としても極力利用していきたい。

(3) 今後、適正就業の関係により事業所への派遣就業ができなくなると聞いている。ゴルフ場とは協議中だが、同センターを脱会し人材派遣会社採用される形になると思う。

(4) 運転が長距離・長時間に至ることが多く、委託は困難ではないかと考えている。

▶ 国道155号延伸
イメージ(20頁に関連図)



立松新治 議員



治安の均衡を図るため 南部地域に交番新設を

問

交番はすべて北部地区にある。(開発が進む)南部地区に、治安基盤の均衡を図るため善処することを強く望むがどうか。

県警察は必要がないとの判断である

答 市長

交番の新設要望を、12月に区長会長と連名で県警察に提出した。

回答は現時点では必要がないとの判断であり、理由は、3中学校区すべてに配置されているからである。

しかし、西部臨海工業地帯は、企業誘致を含め交通量、治安の問題等が大変心配されている。今後も引き続き要望していきたい。

防災公園が早急に必要なではないか

問

東海・東南海・南海地震等を危惧するが、そのために(防災機能を備えた)総合公園が早急に必要であると思うがどうか(19頁に関連記事)。

20年度に予算計上 平島に防災公園を

答 市長

境港(の不法係留船が撤去された跡地)に県は防災公園を考え、20年度の計画で進めていくと聞いている。面積5、400㎡にヘリコプターの着陸スペース、

水防倉庫、グラウンドゴルフ場2面がつくられる。

平島中区画整理地内の1.4haの公園予定地(Ⅱひので保育所隣接地)に、20年度予算計上し防災機能も併せた公園の実施計画を策定し、地元とアイデアを出しながら具体化させていく。

第3環状線の進捗 状況は

問

名古屋第3環状線の弥富木曽岬インターより国道23号までの進捗状況、完成目標等を聞く。

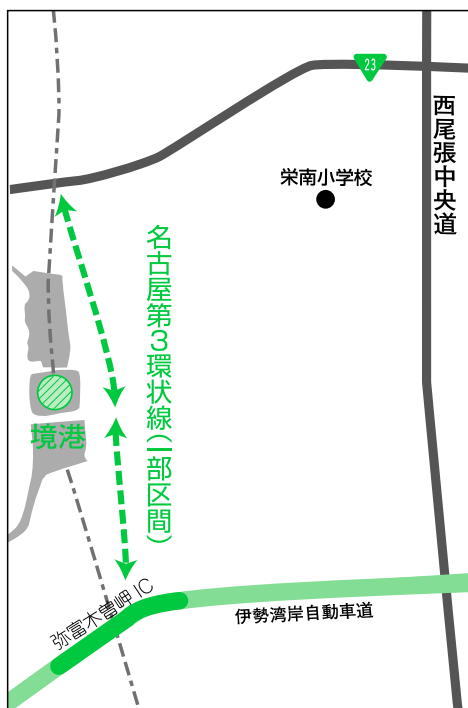
伊勢湾岸以北1km 区間は進捗率70%

答 土木課長

伊勢湾岸自動車道以北1km区間は、堤防付近に整備した盛り土の安定状況を確認しながら(県が)事業を進め、進捗率は70%である。

国道23号以南の1.4km未整備区間の事業化に向け、(県が)道路、橋梁等の設計を発注し、早期に関係機関と交差点協議を進める予定である。

引き続き早期完成を県に要望していく。



堀岡敏喜 議員



通学路の街灯設置にソーラーライトを利用してはどうか

問

街灯のない通学路対策について、次の事項を尋ねる。
(1) 多数の市民より、市内の通学路で街灯がなく、犯罪の温床にもなりかねないと指摘を受けた個所が多々ある。
一例を挙げれば大藤小学



▶大藤小学校周辺の通学路

校区の鎌島住宅地の通学路は、人けもなく、日没後は大人でも不安になる。

このような危険個所に、地域の意見を聞きながら市が調査の上、街灯設置を早急に検討できないか。
(2) 家庭用の太陽光電池によるソーラーライトを利用してはどうか。

費用対効果も含めて研究していきたい

答 教育部次長

(1) 小・中学校で日没時刻を考え、明るいうちに帰宅できる下校時刻を決めている。今後とも各学校に対し、通学路の安全を再点検するように強く指導をしていきたい。
(2) 費用対効果も含めてよく研究していきたい。

防犯隊グッズを工夫し参加意欲の向上を

問

市では「きんちゃんパトロール隊」が結成されており、市民の地域防犯交通安全への尽力に感謝している。

しかし、登録でもらえる腕章、帽子等はデザインが古く、量販店でも手に入り悪用される恐れもある。

もっとオリジナリティーのあるもの、例えばバンダナ等に変更すれば参加意欲も向上すると思うがどうか。

現在のところ変更する考えはない

答 防災安全課長

偽造のあるなしにかかわらず、目的が達成され、犯罪が少しでも減少すればと考えており、現在のところ変更する考えはない。
ただ、今後検討する必要があると認識している。

安全対策としてバス停留所の視認性を高めよ

問

巡回福祉バスの停留所について、次の事項を尋ねる。
(1) 狭い歩道に設置された個所は、バスを待つときに危険である。ドライバーが視認しやすい色や形に変更できないか。
(2) 日よけ、雨よけや腰掛けがつくれないか。

今後の検討課題としたい

答 防災安全課長

(1) 今後の検討課題としたい。
(2) 屋根のある公共施設を除き、ほとんどが歩道もないのが現状である。通行の妨げや交通事故の原因になるので、現在は考えていない。
ただし、調査してスペースのあるところは、今後の研究課題としたい。

佐藤 高 清 議員



農地の災害対策と 有害鳥獣対策の協議会設立を

問

次の農地対策について尋ねる。

- (1) 災害対策と、災害救済法支援について尋ねる。
- (2) 水稲、麦、大豆等が、ヒドリガモ、カラス、ヌートリア、ジャンボタニシによる被害を受けている。

被害拡大を防ぐため、関係機関が集まり情報収集し、協議会等を立ち上げる考えはあるか。

平常時は排水路整備を 災害時は国の特例措置

答 農政課長

(1) 現在、湛水防除（＝農作物の湛水を防ぐための排水機や排水路整備）、緊急農地防災事業、補助事業で排水路整備等を実施している。

市では水中ポンプ4台（毎分排水能力10t）を保有し緊急時に備えており、毎年、建設業協会の協力を得て、訓練を実施している。

災害時は災害救助法による一時的な応急措置をする。大災害時は特別財政援助指定により、農地等の災害

復旧補助、農林水産業共同利用施設の災害復旧補助、各農家支援策に天災融資と、各特例措置がある。

(2) カラスの踏み荒らし問題はJA、生産組合支部長を通じ、有害鳥獣駆除を実施している。

市としてはJAを中心にした協議・対策といった方向で指導していきたい。

ジャンボタニシ駆除は卵を水に落とせばふ化しないので、各自で対応願いたい。

19年度開始の農地・水・環境保全向上対策（＝地域で農地や用水等を守る共同活動への支援）事業の一環として対応願いたい。

外来生物等への対応は、県等と情報交換会を年数回行っており、その情報をJA、生産者へ知らせていきたい。

避難所用地確保に 登録農地制度を

問

次の防災対策について尋ねる。

- (1) 土のう、ボート、食糧は適材適所に配置しているか。
- (2) 水田の埋め立てで保水能力のない地形ができてつある現状に対し（使用時を考慮し土のある付近に）適切に土のうは配置しているか。
- (3) 災害時の避難所や仮設住宅建設用地の確保として、防災協力登録農地制度が全国的に設立されているが、導入する考えはあるか。

現段階では考えていない

答 市長

(1) おおむね整っており、さらに適材適所の配置に努めていきたい。

(2) 現状を整理して、災害時に戸惑いがないよう整備していきたい。

答 防災安全課長

(3) 現段階ではそういう考え方は持っていない。ただ、必要性は感じている。

▶ 水中ポンプの稼働訓練





三 浦 義 美 議員

歩車道の区分がない踏切の安全対策は

問

歩車道の区分がされていない踏切の安全対策について、近鉄、JR、名鉄に今後どのように対応するのか。

問

近鉄佐古木駅の環境整備について尋ねる。

(1) 駅舎内に汲み取り便所があるが、構内が臭くて不衛生である。駅舎外に公衆トイレを設置してほしい。

(2) 約100台の放置自転車がある。弥富、五之三駅と(同様に)格差のないよう無料駐輪場をつくってほしい。

(3) スペリア佐古木は(線

答 開発部長

今後の拡幅は歩道設置を努力したい

(同様の踏切は)JR4、近鉄6、名鉄に6カ所あり、現在の幅員での歩道設置は非常に困難である。

今後は道路の拡幅整備を行う場合、鉄道事業者、関係者と協力し、歩道設置を努力していきたい。

佐古木駅舎外に公衆トイレ設置を



不法駐輪された自転車(近鉄佐古木駅)

新たに設置する考えはない

答 都市計画課長

(1) 駅の利用者に対してのトイレで、市として新たに設置する考えは現在ない。

汲み取りは水洗便所に改修するよう、再三、近鉄へ要望を重ねている。

答 市長

(2) 大事なことは、駐輪条例でまず規制をして、それから考えることではないかと思うので、現在、つくる予定はない。

(3) 鉄道施設の改修は、簡単にはいかなと思う。要望として聞く。

(仮称)白鳥駅を総合計画に組み入れては

問

JRに関連して、次の事項を尋ねる。

(1) 又八地区等の線路(沿い)は、排水路が約2.5km未整備で、雑草も生え農業に支障がある。市からの申し入れはどうなったか。

(2) (仮称)白鳥駅の新設について、総合計画に組み入れてはどうか。

反映は基本的に考えていない

答 開発部長

(1) 地元から話があり、19年にJR東海三重支店に要望に行ったが、予算が厳しく整備は難しいという回答だった。

引き続き早期整備をまた働き掛けていきたい。

答 市長

(2) 20年ほど前の話で、現時点では大変厳しい状況であると思う。

総合計画に反映することは基本的に考えていない。

山 本 芳 照 議員



小学校区ごとに整備予定 の防災広場の仕様は

問

19年のタウンミーティングで、各小学校区に1カ所、防災広場整備の方向性が出たが、具体化されたことはあるか(15頁に関連記事)。

おおむね3年間で
計画に移していきたい

答 市長

20年度内に平島地内で防災機能を強化した公園を具体化していきたい。

耐震性貯水槽、備蓄倉庫、ヘリポート等を揃えた配置を考えなければならない。

境港の緑地計画である5、400㎡が、今後の各学区の適正規模だと思う。具体的な場所は決まっていない。おおむね3年間で実施計画に移していきたい。

弥生より古い白鳥
保育所建て替えを

問

12月議会で、弥生保育所の建て替えは今後3年間で整備したいとの答弁があつたが、白鳥保育所は弥生より古い。早急に建て替え計画を明らかにしてほしい。

総合計画に位置付け
進めていきたい

答 市長

弥生はスペースが狭い問題があり、優先させてほしい。白鳥の改修は総合計画に位置付け、財政状況も勘案し、できるだけ早く進めていきたい。

福祉バス見直しの
考え方を聞く

問

巡回福祉バスについて尋ねる。

- (1) 通勤・通学の利用者数
- (2) 3月11日に実際にバスに乗った際、コース通りに走らなかった事実がある。実態を定期的に把握する必要があるのではないか。
- (3) 通勤時間帯は駅へ、午前8時30分頃に市役所、海南病院へ着き、それ以降、総合福祉センター等へ利用できるよう見直しを含め、どんな考え方で進めるのかを聞く。

バス停数縮小を含め
抜本的に改正したい

答 防災安全課長

- (1) 全体人数は把握しているが、駅への通勤利用者数はつかんでいない。

- (2) 三重交通に嚴重に話を

流域下水の認可
区域の拡大は

問

- 日光川下流域下水道事業について尋ねる。
- (1) 22年度に予定通り供用開始できるのか。
 - (2) 認可区域の拡大状況は。

前ヶ須、鯛浦地区の
一部が手続中である

答 下水道課長

- (1) 22年度の供用開始区域は、平島、鎌島、操出、三稲、稲狐の一部を予定している。
- (2) 国道1号以南の前ヶ須、鯛浦地区の一部で現在、手続をしている段階である。

し、注意を促していきたい。
(3) 乗降客が実際何人いるかの洗い出しにおいては、バス停数も縮小しながら、より効率的に市民の足として活用できるよう、一度抜本的に改正をしていきたい。



佐藤 博 議員

農家の負担軽減のため 土地改良団体を市直営に

問

農家の土地改良団体への受益者負担は、農業収入の割に大きな負担になっている。排水路などの維持管理等は、市全体のものと考えるべきであると思う。

団体の職員が市職員になれば、保険費用等が割安になり、入札も（一括発注等で）値打ちにできるのではないかと。そこで、市直轄として対応することを提案する。

補助制度を中心に 今後も対応したい

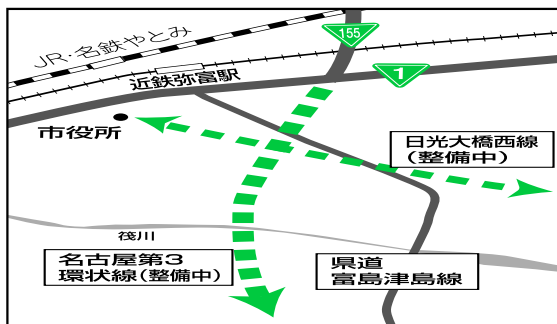
答 市長

土地改良の基本的な原則は農地の保全・形成であり、農家の私的財産として個人負担で経営されており、直轄管理にはなり得ない。

155号南伸に伴い 前ケ須の区画整理を

問

現状のさまざまな農地に対する補助制度を中心に、今後も対応していきたい。



▶ 国道155号延伸の概略図
(14頁に関連写真)

前向きに考えるべき テーマである

答 副市長

(1) 国道1号から県道富島津島線の1期は（県が）20年度中に平面交差で供用を開始し、日光大橋西線までの供用は22年度である。

それ以南の用地買収は、県との調整の中で地権者と協議をして進めていく。
(2) 地権者と議論する問題と減歩の問題があるが、前向きに地域住民と考えるべきテーマであると思う。

不在放置危険家屋 の対策を講じよ

問

現在居住者のない不在放置危険家屋が、市内にかなりあると思う。

地震等で倒壊すると道路の遮断や火災原因等の問題を起こす。実態調査をし、被害を拡大させない指導体制をつくるべきではないか。

文書で所有者に安全管理を依頼したい

答 総務部長

消防署が実態調査をしており、所有者への連絡や指導対応に苦慮している。

区長、消防署、県等と連携をとり、安全管理指導を行うことが必要だと思う。家屋の撤去は、個人の財産であり民事的な要素、難しい面が多々ある。文書等によりしっかりと対応してもらおうよう依頼していきたい。

伊藤 正 信 議員



湛水防除の新鍋田2期 工事の中断後の対応は

問

湛水防除(17頁参照)の新鍋田2期工事(Ⅱ排水機場整備等)が中断しているが、今どう取り組んでいるのか。

事業問題について、事業内容を探る。

道水路整備等を 15年度より実施

答 開発部長

上野地内の浄化センター建設に伴う周辺対策事業費は、栄南学区を対象とし、学区区長会の要望を県と3市5町で組織する「日光川下流域域下水道推進協議会」で確認し、事業を進めている。
15年度より道路、水路整備、防災対策整備等を対象とし、約10年間の実施を計画している。

公共下水周辺対策 の内容は

問

日光川公共下水周辺対策

学校の過疎・過密 対策は

問

合併して、箱物利用と同時に行行政区のあり方を検討し(学校の)過疎・過密問題に議論を重ねることになっていったと思う。

新しい学校建設に反対するわけではないが、小学校の今後のあり方、中学校も(人数が少なく)クラブ活動ができない状況下で、どのように対応するのか。

特別な理由があれば 学区変更を認める

答 教育長

文部科学省は学区変更を通学の利便性、部活動も認めているが、すべて認めればますます過疎化になる。教育委員会では、いじめ、特別な理由等がある場合に協議し変更を認めている。

北部保育所跡地 周辺の道路整備は

問

五之三地区の道路について尋ねる。

(1) 北部保育所跡地付近の道路拡幅は、できるところから手掛けてほしい。

(2) 用地買収済みの路線を速やかに拡幅してほしい。
(3) 最低でも救急車が走れる道路整備計画を求める。

跡地の一部を利用 し拡幅整備を行う

答 開発部長

(1) 北部保育所跡地は、電柱移転、道路拡幅に一部を利用し道路整備を行う。
(2) 地元申請により、事業効果の高い路線を優先し、同地区は五明荷之上線を優先的に整備する。

答 市長

(3) 跡地周辺は、非常に狭隘(Ⅱ狭い)道路である。しっかりと計画を進める。
跡地南側は地権者と交渉し、拡幅準備を進めていく。

カメラスケッチ やとみ フラッシュ!

かわいいお馬さんだねえ

馬に親しんでもらう目的で、名古屋競馬振興協議会員らが3月12日、ミニチュアホース3頭を連れて栄南保育所を訪問しました。

体高約80cmと小柄な馬で、すぐに子どもたちの人気者に。馬に乗ったり餌をあげたりして、触れ合いを楽しんでいました。



児童クラブができたよ

十四山西部児童クラブの建物が3月20日、同小学校敷地内に完成し供用されています。

鉄骨造り2階建て、延床面積225.9㎡で、建築工事費は3,150万円。従来、同小体育館内の部屋を使用していたのが解消され、館内では、子どもたちの歓声が響きわたっていました。

こいのぼりと一緒に

こどもの日のつどいが4月30日、西部保育所で行われました。

子どもたちは、事前につくったミニこいのぼりを手に徒競争や玉入れを行い、手製のかぶとをかぶっての歌や踊りも披露。おやつには柏もちを食べ、一足早い端午の節句を味わっていました。

